**第３回観察会　2003年６月７日(土) 13:00～14:00　晴れ**

**テーマ『ユクノキの開花をみよう』**

ガイド：今村彰生さん（総合地球環境学研究所）

**☆参加者の感想（限定対象　学内教職員）**

* 植物園には、ほんとうにさまざまな時間が流れていて、ぜいたくな場所だなあと思いました。切られた大木のことも、話できいていただけのときより、ずっと生々しく、痛々しさを実感しました。ありがとうございました。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（梶原玲子さん）
* 切られた木の切株を切られて以来はじめてじっくりとみたが（あんまり見たくなかった）植物園に入ってもあすこが切られていると感じていてもはっきりと見る勇気がなかった。新しい若葉が切り株に生えているのを確認して、うれしい気持ちとともに、やっぱり怒りがおさえられない気持ちになる。くそ！
* 植物園の歴史などを知ることができ、参加してよかったです。木をきられた場所は本当に気温が高く、木が一本なくなることによって、今後おこるであろうことを考えると、とても恐ろしいと思います。今あるものを残す、あたり前のようだけど大切なことですよね。なぜ、植物園の木をわざわざ切らなくてはならないのか、理解に苦しみます。もっと別の方向で、できること、すべきことがあると思うのですが、、、。これからも植物園問題を考え続けていきたいです。